



- ✂ 日本で唯一医療系4学部が共に学ぶ
- ✂ チーム医療教育の深化、創立の原点へ
- ✂ 最新、最先端の医療を学ぶ充実の実習

岩手医科大学は2017年4月に看護学部を開設します。

岩手医科大学は、創立120周年の節目を迎えるにあたって、医学部・歯学部・薬学部に加えて看護学部を設置し、医療系総合大学として、チーム医療教育のさらなる深化を目指します。





実践的な医療教育

01

日本で唯一
医療系4学部が共に学ぶ

本学は、創立以来盛岡市中心部の内丸地区にキャンパスを構え、地域医療の安定・充実を図るとともに、その担い手となる医療人の養成に務めてきました。

近年、生命科学は飛躍的な進歩を遂げており、これに対応した最先端の教育、診療を行うため、矢巾地区に広大なキャンパスを開設し、医・歯・薬学部が同じキャンパスで学ぶ日本で唯一の医療系総合大学となりました。

現代は、患者さんを中心に様々な職種の医療従事者が連携してチーム医療にあたることが求められています。本学は、医・歯・薬学部を同一キャンパスに有する特色を生かし、学部の垣根を越えた連携のもと、チーム医療教育に取り組んできました。これに、看護教育が加わることで将来のチーム医療を担うメンバーが共に学び、学問的にも相互補完する形となり、より実践的な医療教育が可能となります。

本学の創立者である三田俊次郎は、明治初期の岩手県における医療の貧困を憂いて、明治30年、私立岩手病院を開院、同時に医学講習所、産婆看護婦養成所を併設し、医師だけでなく看護婦や産婆の養成を開始しました。これはまさに現在のチーム医療の概念に他なりません。

岩手医科大学は、創立120周年の節目を迎えるにあたって、この原点に立ち返り、岩手県・東北地方の医療の安定に寄与すべく、医学部・歯学部・薬学部に加えて看護学部を設置し、医療系総合大学として、チーム医療教育のさらなる深化を目指します。



02

チーム医療教育

チーム医療教育の深化
創立の原点へ



附属病院を矢巾キャンパスへ移転
東北を牽引する医療拠点へ

- 誰にでもわかりやすく、親しみやすい、安心感のある病院
- 高度な専門的・先進的医療の変化と成長に対応できる病院
- 災害時の安心・安全を確保し、省エネに配慮したエコホスピタル
- 「治療・教育・研究拠点」として入院・治療をトータルコーディネート
- 街並みの連続性を形成し、地域共存と町づくりを担う病院
- 学部と連携した連続性を持ちスタッフが働きやすい病院



矢巾新附属病院の内観イメージ図



完成イメージ

03

充実の実習環境

最新、最先端の
医療を学ぶ充実の実習

東北最大級の病床数を誇る岩手医科大学附属病院は長年にわたり、岩手県の看護師養成の実習機関としての役割を果たし、充実した教育体制を築いてきました。岩手医科大学附属病院での臨地実習では、多くの症例にあたることができ、医療の現場に即した実践力を持った人材の育成が期待できます。平成31年度には、矢巾キャンパスへの移転が決定しており、臨地実習が本格的に開始される3年次の開院することになっています。また、附属病院以外にも実習の目的や教育効果を勘案して、近隣の医療施設や訪問看護ステーション、地域包括支援センター、介護老人保健施設などの実習も行います。高度化する看護医療の実践に必要な最先端の知識・技術の習得を目指します。





理事長 小川 彰



学長 祖父江 憲治

深い人間性を持った医療人を育成します

本学は明治30年、私立岩手病院に併設された医学講習所・産婆看護婦養成所を源とし、以来、百十有余年一貫して医療人の育成を続けてきました。現在は、医学部・歯学部・薬学部とそれぞれの大学院を有する医療系総合大学として発展していますが、創立120年の節目にあたる平成29年4月に「看護学部」を設置、平成31年度には矢巾キャンパスに1,000床規模の附属病院を移転新築することになっています。

医療系の複数学部を有する大学はありますが、同じキャンパスの共通した講義実習棟で医・歯・薬・看護の4学部が学ぶことができるのは本学のみです。患者さんを中心に多職種が連携するチーム医療が求められている現代にあって、学生時代から学部を超えた連携のもと、実践的なチーム医療を学ぶことができることや同一キャンパスに主な実習施設となる附属病院があることは、医療を学ぶ上で恵まれた環境と言えます。

岩手医科大学は、素晴らしい教育・研究・診療環境を用意して皆さんを待っています。「誠の人間の育成」「厚生済民」という建学の精神のもと、本学で学び、「病」を診るのではなく「人」を診ることができる全人的医療の資質を備えた高度医療人として育ててくれることを願っています。

本学の歩み

1897	明治30年	私立岩手病院開設 医学講習所・産婆看護婦養成所併設
1901	明治34年	私立岩手医学校設立認可
1912	明治45年	私立岩手医学校閉校【教育改革により】
1926	大正15年	岩手病院診療棟竣工(現1号館)
1928	昭和3年	財団法人岩手医学専門学校設立認可
1947	昭和22年	財団法人岩手医科大学に組織変更
1948	昭和23年	岩手医科大学医学部医学科開設
1951	昭和26年	財団法人岩手医科大学を学校法人岩手医科大学に組織変更
1952	昭和27年	新制岩手医科大学発足
1960	昭和35年	大学院医学研究科設置認可【博士課程】
1965	昭和40年	歯学部・教養部開設
1983	昭和58年	大学院歯学研究科設置認可【博士課程】
2004	平成16年	大学院医学研究科設置認可【修士課程】
2006	平成18年	薬学部設置認可
2007	平成19年	矢巾キャンパス竣工 薬学部・共通教育センター開設
2011	平成23年	医学部・歯学部基礎講座統合・移転 共同研究部門移転・医歯薬総合研究所へ改組 矢巾キャンパス第二次事業竣工
2012	平成24年	大学院薬学研究科設置認可【博士課程・修士課程】
2014	平成26年	全学教育推進機構を開設【共通教育センターを改組】
2015	平成27年	岩手看護短期大学設置者変更認可【学校法人岩手女子奨学会から移管】
2016	平成28年	岩手看護短期大学設置 看護学部設置認可
2017	平成29年	看護学部開設



医療の現場に即した実践力を持った人材を育成します

近年、多くの専門職がそれぞれの専門性を生かし連携しながら病気の治療や療養のサポートを進めていく「チーム医療」が当たり前となっていますが、本学創立者は、この岩手で120年も前に、医師だけではなく助産師や看護師など医療人の育成を始めています。それは、創立者の医療本来のあり方についての造詣の深さを現しています。そのような理念に裏付けられ、平成29年度に開設する看護学部は、本学創立の原点への回帰とも言えます。

本学はこれまで、医療系総合大学として医・歯・薬学部を設置し、教育・研究の連携を行ってきました。ここに看護学部が加われば、相互補完する形となり、総合的でバランスの取れた実践的な医療教育・研究が実現されます。また、矢巾キャンパスでは、看護学部生を加えた4学部の学生が机を並べて学ぶことになり、各学部学生同士の交流が日常的に行われることから、将来のチーム医療を担う医療従事者が学生時代から良好な人間関係を形成することができます。

このような意味で、本学に看護学部を設置することは、単に新たな学部を新設することに留まらず、それぞれの学部の相乗効果を生み出すことになり、岩手医科大学の更なる発展につながります。

看護学部は、医・歯・薬学部そして附属病院の教育・研究・医療資源を最大限に活用して構築しました。最新・最先端の高度医療、地域医療、チーム医療を担う優れた看護専門職者を養成し、岩手県のみならず東北地域全体の総合医療の推進を図るとともに、現役看護専門職者の資質向上にも寄与していきたいと考えています。



看護学部長予定者 嶋森 好子

アドミッションポリシー〈入学者受入方針〉

本学は、「医療人たる前に、誠の人間たれ」という建学の精神のもとに、地域医療に貢献する医療人育成を使命として設立されました。学則には、「まず人間としての教養を高め、十分な知識と技術とを習得し、更に進んでは専門の学理を極め、実地の修練を積み、出では力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献する」と掲げられています。看護学教育・教養教育を通して、優れた資質と深い人間愛を有する医療人、研究者、人格的に成長できる人材の育成が、本学の目指すところです。

求める人材像

1. 人々との相互関係に関心を持ち、人としての尊厳を重んじることができる人
2. 人の不安や悩みを自らの問題として受け止めることができる人
3. 看護学の学びから自己の成長を望む人
4. 自然環境との共生と防災に関心がある人
5. 地域社会に役立とうという意志を持つ人

育成する人材像

1. 人々の尊厳と権利を尊重し、看護専門職としての責務を果たすことのできる人
2. 科学的根拠に基づいて、計画的に看護を実践する能力を持つ人
3. 個人および地域社会の健康課題に取り組んでいく能力を持つ人
4. 多職種チームにおいて、看護専門職としての役割を発揮できる人
5. 変動する社会に関心を持ち、看護専門職として研鑽を続ける意志を持つ人

カリキュラム

本学では、医学部・歯学部・薬学部を擁する医療系総合大学としての特色を最大限に活かし、多職種連携教育を取り入れながら、段階的に看護学の知識および技術を習得していきます！

■ 教養教育科目

看護学を学ぶための基礎学力や教養を身に付けるとともに、医療人として人と接するための心構えや態度、コミュニケーション能力を習得します。選択科目はすべて医学部、歯学部および薬学部と共通の授業科目です。

■ 基礎看護科目

すべての看護専門分野の学びの基盤となる基礎看護学の知識および技術を段階的に学び、看護学の基礎的要素を身に付けます。

■ 看護の統合と実践

災害看護、国際看護、医療安全、緩和ケア、看護政策、看護管理、看護研究など、看護に関する学問を多角的・統合的に学びます。

■ 公衆衛生看護学関連科目・助産看護学関連科目

主に保健師または助産師を目指す学生が履修します。保健師または助産師として必要な幅広い知識と優れた技術のみならず、科学的根拠に裏付けられた看護実践力を兼ね備え、個人、家族、集団および地域社会の健康問題に的確で計画的な看護を提供するとともに、主体的・自律的に行動できる看護専門職者を育成します。

1 年次

IPE関連科目

多職種連携のためのアカデミックリテラシー

教養教育科目

English Reading & Writing	
医療における社会・行動科学	医療面接の基礎
基礎自然科学	生命倫理学
情報科学	English Speaking & Listening
健康運動科学	科学英語、英語学、医療と物語、人間関係論、パーソナリティ心理学、哲学の世界、医療と法律※選択
社会福祉	
心理学	
ベーシック生物、スタンダード生物、アドバンスト生物、自然・文化人類学※選択	
ベーシック化学、ベーシック物理、解析学入門、医療とスポーツ、文学の世界、道徳のしくみ※選択	
ベーシック数学、アドバンスト化学、医療とコミュニケーション、実践英語、医療と福祉※選択	

2 年次

看護専門基礎科目

基礎解剖学	薬理学	疾病論Ⅲ～Ⅳ
基礎生理学	臨床心理学	
医学・医療入門	疾病論Ⅰ～Ⅱ	
	栄養学	
	生化学	
	感染免疫学	
	病理学概論	

基礎看護学

看護学概論	基礎看護学Ⅱ～Ⅳ	基礎看護学Ⅴ
基礎看護学Ⅰ		

成人看護学

成人看護学概論	
成人看護方法論Ⅰ～Ⅱ	
成人看護学演習Ⅰ	

老年看護学

老年看護学概論	老年看護方法論
---------	---------

小児看護学

小児看護学概論	小児看護方法論
---------	---------

母性看護学

母性看護学概論	母性看護方法論
---------	---------

精神看護学

精神看護学概論	精神看護方法論
---------	---------

在宅看護学

在宅看護学概論	在宅看護方法論
---------	---------

3 年次

IPE関連科目

チーム医療リテラシー

■ 看護専門基礎科目

人体の構造、疾病と治療、薬物治療や患者との関わり、現代医療及び医療の変遷並びに看護を取り巻く保健医療福祉の仕組みなどを学修します。看護学部の専任教員の他、主に医学部・歯学部の基礎医学系教員や本学附属病院の医師として臨床の最前線で活躍している教員が担当します。

■ 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護学

各専門分野の基礎を学び、実践につなげるための基本的な知識と技術を身に付けるため、それぞれの分野の専任教員がきめ細かく指導します。演習は、矢巾キャンパスに新たに整備した実習室で行います。

臨地実習

老年看護学実習	統合看護実習
小児看護学実習	
母性看護学実習	
精神看護学実習	
在宅看護学実習	
成人看護学慢性期・回復期実習	
成人看護学急性期実習	

看護の統合と実践

看護政策論	家族ケア論
看護管理学	看護教育論
看護研究	メンタルヘルスクア論

発展科目

医療情報論	
先端医療論	
災害医療論	

公衆衛生看護学関連科目

日本国憲法	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護方法論	公衆衛生看護管理論Ⅰ～Ⅱ	公衆衛生看護学実習
	公衆衛生看護展開論			

助産看護学関連科目

助産学概論	助産診断技術学Ⅰ～Ⅲ	助産診断技術学Ⅳ	助産診断技術学Ⅴ
			地域母子保健
			助産管理学
			助産学実習Ⅰ～Ⅱ

4 年次

■ IPE(多職種連携教育)関連科目

臨床における問題発見とその解決法、多職種間のコミュニケーション能力を養うことを目的に、医学部、歯学部および薬学部と共通の授業科目として履修することでチーム医療を段階的に学びます。

■ 臨地実習

本学附属病院を中心に岩手県内の施設で行います。看護専門職としての技術や態度、倫理観を養う上で最も重要な授業科目です。実習までに習得した知識・技術を臨床の現場で実践的に学びます。平成31年度以降は矢巾キャンパスの新附属病院を中心に行います。

■ 発展科目

医療を多角的に捉えることや看護をより深く学修することを目的とした選択科目です。

自由科目

看護研究実践演習

■ 自由科目

看護研究を発展的に学ぶことを希望する学生のための授業科目です。



看護学部で取得できる 3つの国家試験受験資格

看護師・保健師・助産師の免許を取得するためには、それぞれの国家試験に合格することが必要です。

本学看護学部を卒業することにより「看護師国家試験受験資格」を得ることができます。この他、定員制になりますが、3年次から特定の授業科目を選択履修した学生は、「保健師国家試験受験資格」または「助産師国家試験受験資格」を得ることができます。なお、保健師免許取得後は、申請により養護教諭二種免許状を取得することができます。

本学看護学部では、最新・最先端の高度医療とチーム医療の学びはもとより、深い教養と科学的根拠に裏付けられた論理的思考力や創造性の涵養、確かな知識に基づく問題発見・解決能力など生涯にわたり看護を探究する能力を養います。さらには、学術的な研究能力の修得を通して学識を高めるとともに、高度化、多様化、専門化する医療や変動する社会ニーズに主体的・自律的に対応できる看護専門職者を育成するため、より実践的、弾力的で体系的な教育課程を編成しています。

「看護師」とは

看護師は、傷病者や妊産婦の療養上の世話や診療の補助などを行います。また、患者さんや家族の不安を取り除き、心のケアをしていくことも大切な役割です。病院や診療所などの医療機関のほかに、在宅の訪問看護や福祉関連施設など、活躍の場はどんどん広がっています。認定看護師・専門看護師としてスペシャリストを目指すこともできます。



「保健師」とは

保健師は、人々が健康な生活を送れるように保健指導を行います。保健所などの公的機関で、乳幼児健診・母親学級といった母子保健活動や予防接種、各種がん検診を行うなど、地域住民の健康管理が主な仕事です。高齢者などの自宅療養者の家庭を個別訪問し、健康についてのアドバイスを行うこともあります。また、企業に勤め、社員の健康相談や健診の結果をもとに生活指導も行います。

「助産師」とは

助産師の仕事は、出産の介助はもちろん、出産にいたるまでの妊産婦への保健指導やアドバイスから、産後の母子のケアまで多岐にわたります。ほかにも、育児指導や、不妊治療を行っている夫婦の相談、思春期・更年期の性に関する相談など、女性の生涯を通じた健康問題に関わります。



学生サポート

■キャリアサポート

本学にはキャリア支援センターが設置されており、学生のキャリア形成や就職を全面的にサポートします。学生が高い志と職業観を持ち、社会性を身に付けるため学年ごとに進路総合ガイダンスを行うほか、年間を通じて各種講演会、実践セミナー、公務員対策講座、企業研究セミナーなどを開催、就職のミスマッチを防ぐために、インターンシップを利用して、関心のある職種を実際に体験する機会も提供します。また、盛岡新卒応援ハローワークの専門のカウンセラーによる個別相談や自己分析

の仕方、エントリーシートの書き方、面接練習などの指導を通じてキャリア形成を進めていきます。1年次から行うキャリアサポートを通して、学生が力を発揮できる場所を開拓し、希望する仕事に就けるように、きめ細かい指導を行います。このほか、附属病院には1,000名を超える看護職員をはじめとした医療関係者、岩手県を中心に東北地域の多くの医療機関には、本学出身の医師・歯科医師・薬剤師や看護職員のOB・OGが在籍しています。関係者との連携により、学生の幅広い期待に応えます。

■ライフサポート

学生が4年間を通して学業を安心して行えるよう、看護学部の専任教員を中心とした教職員が、きめ細かくケアします。特に健康管理センターでは、心身の健康や様々な悩みごとについて、常駐するカウンセラー（臨床心理士）と保健師が相談に応じます。身体、学業、対人関係、精神衛生上の問題など、学生生活を送るなかでの悩みや不安について気軽に相談できます。また、在学中は24時間補償の総合生活補償保険に加入します。そのほか、在学中の傷病については、附属病院と連携して対応することも可能です。



概要・学納金・奨学金制度

概要

- 名 称 看護学部看護学科(修業年限4年)
- 開設年月 平成29年4月
- 入学定員 90名
- 編入学定員 5名(3年次)
※保健師養成20名(3年次からの選択)
※助産師養成10名(3年次からの選択)
- 取得学位 学士(看護学)
- 設置場所 矢巾キャンパス
- 取得可能資格 看護師国家試験受験資格
保健師国家試験受験資格(選択履修者)※養護教諭二種免許状申請資格(保健師免許取得後)
助産師国家試験受験資格(選択履修者)

入学金・学納金

	初年度	次年度以降
入学金	250,000円	-
授業料	1,000,000円	1,000,000円
実験実習費	150,000円	150,000円
施設設備費	250,000円	250,000円
合計	1,650,000円	1,400,000円
4年間納付額	5,850,000円	

※上記の他、諸会費・保険料・教科書代等が必要となります。
※保健師・助産師養成課程を選択した学生は、別途実習費が必要となります。

奨学金制度

岩手医科大学独自の制度としては下記のとおり整備しています。

- 貸与金額 年額36万円(月額3万円)
- 貸与人数 各学年10名以内
- 貸与年限 最長4年
- 貸与条件 ①卒業後、本学に勤務する意思がある者
②人物・学業成績とも優秀である者
③経済的な事由により修学が困難な者
- 返還免除 卒業後、直ちに本学で勤務し、貸与期間と同期間勤務することにより、返還が免除されます。
- 返還方法 ①卒業後、直ちに本学で勤務しなかった場合は、貸与金額を卒業時に一括で返還
②本学での勤務が貸与期間に満たない場合は、残りの貸与期間分の貸与額を退職時に一括で返還

この他、日本学生支援機構などの公的機関による奨学金、企業や財団などの民間団体による奨学金、国の教育ローン、銀行などの金融機関が取り扱う教育ローンなどがあります。

入試インフォメーション

岩手医科大学では、多様な方式で学生を募集します。
個別相談会・進学相談会に参加して、入試のことや学生生活のこと、就職のことなど、なんでも聞いてみましょう。

入試日程

区分		募集人員(90名)	出願期間	試験日	合格発表
推薦入学試験	一般	30名	10/24(月)～11/2(水)	11/12(土)	11/18(金)
	社会人	若干名			
	同窓生	若干名			
一般入学試験	前期	55名	1/4(水)～1/28(土)	2/7(火)	2/14(火)
	後期	5名	2/13(月)～3/3(金)	3/9(木)	3/15(水)

※詳細は入学試験要項でご確認ください。

個別相談会

開催日／平成28年10月までの第1・4土曜日
時 間／9:00～12:00(一人当たり60分程度)
場 所／矢巾キャンパス
内 容／入試担当者による個別相談、施設見学など
申 込／岩手医科大学 入試センター事務局
電話:019-651-5110(内線3252)
※希望日の一週間前までにお申し込みください。

進学相談会

各地で進学相談会を開催しております。
日時・会場などの詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.iwate-med.ac.jp/>



キャンパスマップ

自然に溢れ、開放的なキャンパスで、充実の学生生活を。

矢幅駅から徒歩圏内にある矢巾キャンパスは、自然豊かでリラックスできるロケーションが自慢。四季の移ろいを感じながら、静かな環境で勉強できるキャンパスとしても人気です。校舎には開放的な空間が数多く設けられ、日常的に利用する図書館、学習スペースから、食堂、医学書専門書店、コンビニなどのショップまで、便利な施設が充実しています。



クラブ・サークル

体育局

- | | | | |
|-----------|----------|---------|------------|
| 弓道部 | サイクリング部 | 水泳部 | 馬術部 |
| ゴルフ部 | 準硬式野球部 | 日本拳法部 | ハンドボール部 |
| 柔道部 | 卓球部 | バレーボール部 | フェンシング部 |
| ソフトテニス部 | バドミントン部 | 空手道部 | ボート部 |
| バスケットボール部 | アイスホッケー部 | 硬式野球部 | ラグビー部 |
| アーチェリー部 | 硬式テニス部 | 山岳部 | ワンダーフォーゲル部 |
| 剣道部 | サッカー部 | スキー部 | 陸上競技部 |



文化局

- | | |
|-----------|---------|
| 合唱部 | オーケストラ部 |
| 茶道部 | 軽音楽部 |
| 華道部 | さんさ踊り部 |
| 写真部 | |
| 衛生検査部 | |
| クラシックギター部 | |
| 美術部 | |



同好会

- パフォーマンス同好会
ビリヤード同好会
ESS
スポーツ愛好会
非電脳系ゲーム同好会

